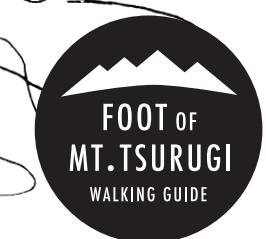


つるぎの ふもとの 散策ガイド

上市町白萩東部散策マップ

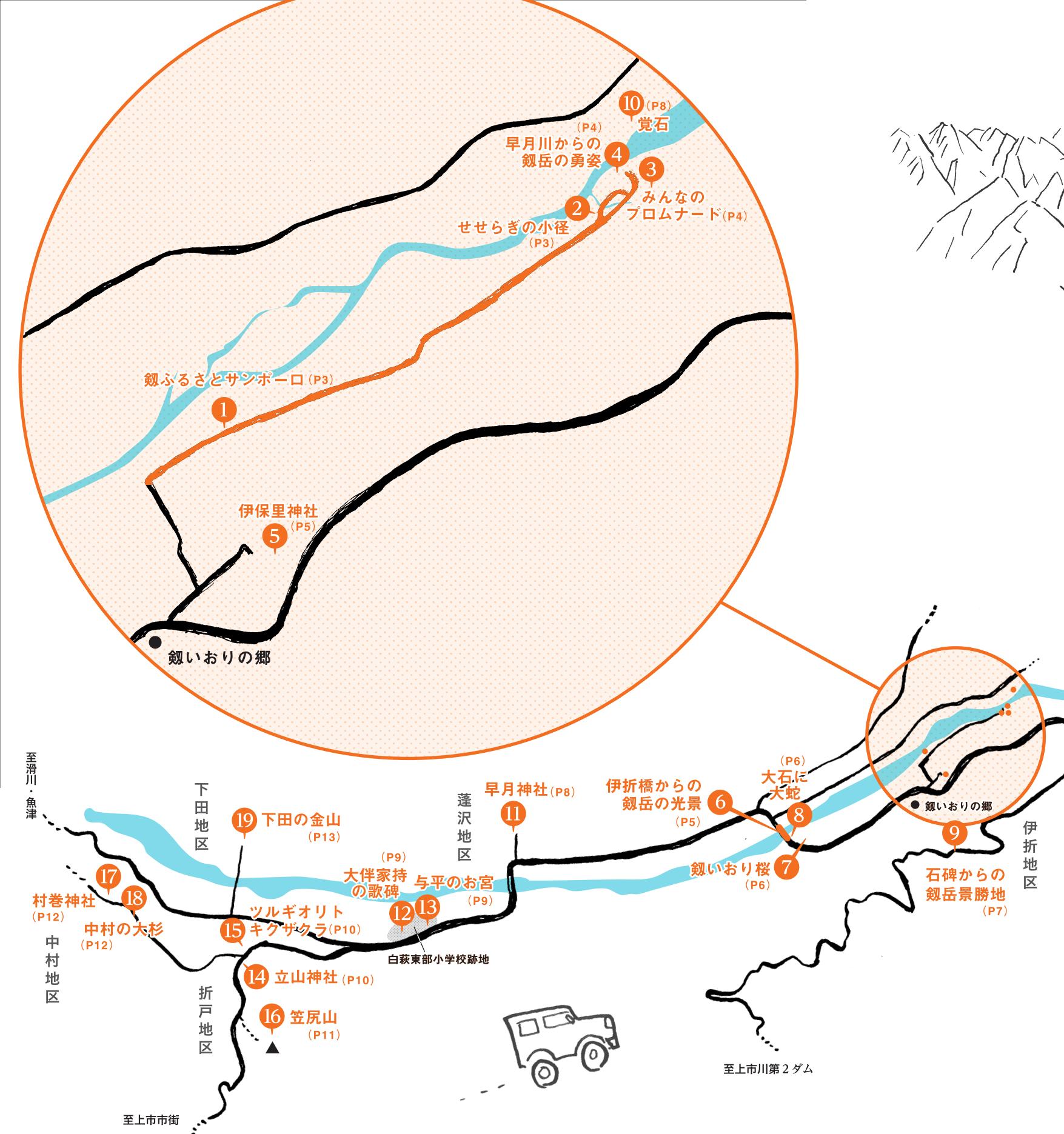


白萩東部地区観光散策マップ

剣岳のふもと、雄大な自然と
豊かな文化・暮らしの足跡を訪ねて
ちょっと特別な散歩をお楽しみください



至上市市街



1 サンポー口



3 みんなのプロムナード



「みんなのプロムナード」には実のなる原木に加えて、山ぶどう、あけび、さるなしが移植されています。春・夏の新緑、川遊び、秋の紅葉・木の実・キノコ等、四季折々楽しめる遊歩道です。

2 せせらぎの小径



4 銳岳川からの 銳岳の勇姿



「みんなのプロムナード」から早月川へ降りますと早月川の堰堤から飛び出す滝の流れと目前に迫る銳岳の勇姿を眺めることができます。迫力ある滝が生み出すマイナスイオンは、その爽やかさで日常の疲れをやさしく癒してくれます。

※富山の名水百選に選ばれた“早月川の清流”と堰堤日本一（昭和 52 年完成）の“高島堰堤”

5

伊保里神社

(伊折地区)



この集落には、昔から誉田（ほむだわけのみこと）を御祭神とする八幡社と天照大神（あまたらすおおみのかみ）を御祭神とする神明社の二つの神社がありましたが、明治 44 年に二つの神社を合祀して伊保里神社となりました。村人の信仰心は強く、現在でも春（4 月）と秋（9 月）に祭礼が執り行われています。祭礼の後は、地元を離れた皆さんの暖かい情報交換の場となっています。

7

剣いおり桜

(伊折橋左岸)



4 月の下旬頃には、2007 年（平成 19 年）より植樹した桜が伊折橋左岸に咲き誇り、山々に点在する野桜と共に伊折の春を華やかに彩ってくれます。剣岳の白とピンクの花のコントラストが楽しめます。剣岳と桜の両方を楽しめる魅力ある故郷として次世代に残したいとの思いや多くの人達に訪れて欲しいとの思いを込めて、主に「思川」という品種の桜が植樹されています。

8

大石に大蛇

(伊折橋下)



「伊折橋」の下に 2.5m四方の大石があります。その石の中央部は 7 ~ 8 cmの濃い色が長く連なり、先端は大蛇がかま首をもたげたようになっています。一部交差している部分があり、あたかも大蛇が二匹いるように見えます。大蛇の化石かもしれません。この地区の人達は「この大蛇は水の守り神として災害から守ってくれているに違いない」と、大石を見守っています。

6

伊折橋からの 剣岳の光景



伊折橋からの風景は富山県が「ふるさと眺望点」として指定された 30 地点の一つです。この橋からは剣岳・奥大日・大日岳の大パノラマが広がり、立山連峰の力強く雄大な山並みを眺めることができます。春夏秋冬、季節を問わず、絵を描かれる方や写真を撮りに来られる方が多数訪れています。

※県は平成 14 年 9 月に優れた景観を眺望できる地点を「ふるさと眺望点」として指定し、これまでに自然景観、四季の景観、都市（まち）の景観として 30 地点を指定しています。

5

6

9

剣岳碑から の景勝地



この石碑は、千石キャンプ場から元剣岳青少年センターを繋ぐ林道千石・伊折線の開通記念として、元・上市町長（伊東尚志）が建立したものです。石碑が佇むこの地からは、周りの山々も含めた剣岳全体を一望することができます。この林道は初夏には新緑、秋には紅葉を楽しめる絶好のドライブコースとして利用されており、また、伊折橋から石碑まで徒歩 25 分程で、ウォーキングコースとして楽しめています。

10

覚石

(おぼえいし)



方では立山超えの際のルートは、この地であったと信じられています。この時、積雪のため軍用金を、この高島の地に埋め、この大石を目印にしたといわれ、覚え石として伝えられています。石の中央部には、何かが（はっきり判らない）刻みこまれています。石の裏面にも何かの表示があります。上記の伝説がたとえ、仮設としても、この大石は何かを私達に訴えています。



御祭神は伊邪那美命（いざなみのみこと）・少彦名命（すくなひこのみこと）・天照皇大神（あまたらすすめおかみ）です。伊邪那美命の歓請年月日は不詳であるが、社伝によれば約九百年前信州より与兵衛なる者が此の地に居を構え村の豪族として業務に勤しんでいた。

其の間に立山社を建立したが安永年間（1772）早月川大洪水のため社殿が流失したので対岸の高台に一族の努力に依り社殿新築したのが現在地です。立山社の境内地鎮座の薬師社。天照皇大神勸詳年月不詳、從来同村蓬平 67 番地鎮座の神明社。薬事社、神明社共に維持困難に付き、明治 44 年許可を得て、同年 11 月 15 日、立山社に合祀し総社号を早月神社と改称し現在に至る。

11

早月神社

(蓬沢地区)



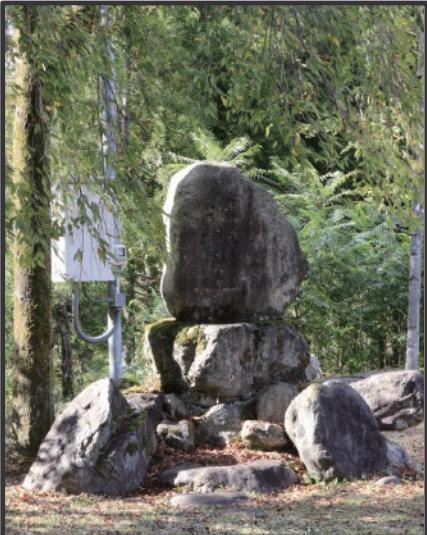
7

8

12

大伴家持の歌碑

「たち山の雪しく(来)らしも
はひつきの河のわたり瀬
あぶみ(鎧)つ(浸)かすも」



大伴家持は、日本最初の和歌集「万葉集」の撰者で、古代を代表する歌人として越中国司としても有名

です。早月川を渡った時の詠みです。剣岳の雪解けのために水量が増している情景としても有名です。馬上豊かに颯爽とした若き貴公子の姿を詠んだ一幅の名画のようなこの歌は、富山が生んだ国学者・山田孝雄（やまだよしお）博士の筆で万葉仮名のまま彫り込んであります。

13

与平のお宮



元、白萩東部小学校南の早月川堤防上にある水神様でご神体は一個の石であります。折戸の与平（高橋祖）が白萩村極楽寺（現上市町極楽寺）北方の甘酒川原を歩いていました。声のする方を見ると、そこには百貫目（375 kg）ほどもある大きな石があって、

確かにそこから声が出ていました。「早月川を守りたいので背負って行ってくれ」との神のお告げがあり現在地まで運んできました。与平は村の皆と話し会って、祠を作り、その神様を祀ったところ、それ以来洪水も少なくなって村は大変助かりました。折戸村ではこれを「与平のお宮」と名付け、早月川、折戸田んぼの守護神（土地や人を守る神）として毎年5月7日に祭礼が行われています。

14

立山神社

（折戸地区）



の古屋敷に祀られ、その後、村が上段（現在地）に移転後、立山神社が創建されたと万治記録（1658）にある。その後、維持困難に付き、明治42年、合祀の許可を得て、総社号を立山神社と改称し同年11月14日合祀し現在に至る。



このサクラはとやまさくら守の会・富山中央植物園の調査研究により、平成20年（2008）新品種として発見されたものです。名称については、上市町折戸で発見されたもので、上市町が誇る北アルプスの名峰「剣岳」から名をとり、ツルギオリトキクザクラと名付けられました。上市町市街地から、この剣岳の登山基地である馬場島へ至る途中に、このサクラはあります。名が示すとおり菊咲き性のサクラで、花弁が200枚以上におよびます。桜の美しさと共に清流と新緑に映える残雪の剣岳も楽しめます。

15

キツルギオーリト

16

笠尻山
(標高
629m)



17

村巻神社
(中村地区)



鎮座地は中新川郡上市町中村 309。御祭神は誉田別（ほむだわけのみこと）です。徳川時代に建立されました。祭礼は伊折地区の伊保里神社の祭礼と同じ日（4月、9月）に執り行われています。



中村地区東端にある巨大な立山杉です。本来、立山杉はこのような低地にあることは珍しく、元々は立山の風雪から守るための杉並木でしたが、現在では、この一本を残すのみとなりました。昭和 23 年 1 月 27 日上市町教育委員会によって、天然記念物に指定されました。

18

中村大杉

上市町市街から県道 46 線を進み、途中の折戸峠に、登り口の看板標識と駐車場があります。登山道は一本道なので、来た道を引き返すコースです。登山道はよく整備されていて、所要時間は登り 50 分、下り 40 分ぐらいです。この山の良さは、春から秋までの無雪期は色々な雑木や紅葉が楽しめ、途中の休憩場所からの剣岳の眺望や、頂上からの能登半島方面の眺望の素晴らしい景色です。登山対象の山というよりは、里山的な散策感覚で登れます。積雪期もスノーシューで千石城山への縦走も行われています。



お知らせ

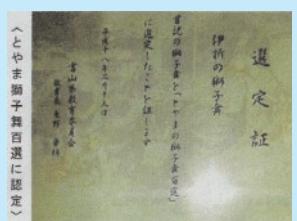
岩魚の放流



令和2年10月4日「早月谷川保護の会」と「白萩東部協議会」合同で早月川の馬場島の周辺の支流を中心に岩魚（約3,000尾）放流しました。上記の「早月谷川保護の会」はこれまで37年間活動をされて来られました。ご苦労様でした。令和3年度からは「白萩東部協議会、早月川保護の会」が引継ぎ活動をして参ります。

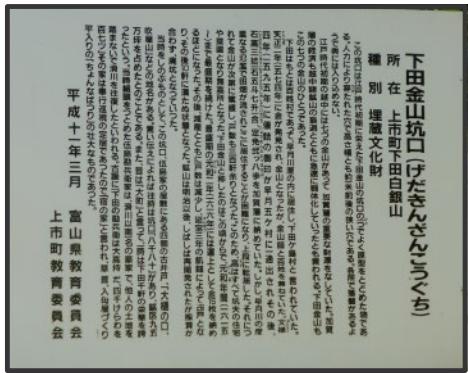


伊折の獅子舞い



伊折の獅子舞いは昭和57年、25年ぶりに故郷に伝わる獅子舞いが消えると、離村者でつくる伊折青年会が保存に乗り出し復活した。平成18年に「とやま獅子舞い百選」に認定された。しかし、現在は会員の減少と高齢化など課題も多く抱えています。

※富山県は県内で1,700カ所以上で獅子舞いが伝承されている全国的に珍しい県です。
現在300カ所が休止しています。



天正2年（1574年）に下田で金が発見され、最盛期には千人を超える鉱山夫が集まり賑わった地区です。加賀藩直轄の金山として栄え、藩の財政を支えてきたこの鉱山と村の繁栄と衰退の歴史は、毎年地元の小学生の郊外学習などをもって、今も学び、語り継がれています。



